



令和3年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」


事業実施報告書

I	スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び
II	マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成
III	スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築
IV	日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成
V	スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

道府県・政令市名【 静岡県 】

学校名【磐田市立福田小学校】

1 実践テーマ	I・II・ III ・IV・V（複数選択可）
2 実施対象者 (学年・人数)	6年生120人 4時間目 1・2組合同（59人） 5時間目 3・4組合同（61人）
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ① 教科名（総合的な学習の時間） ② 行事名（ ） ③ その他（ ） (2) 地域における活動 ① イベント名（ ） ② その他（ ）
4 目標 (ねらい)	パラスポーツの一つである「ボッチャ」についてルールを学んだり、体験したりする活動をとおして、自分たちや障害のある人との関わりを考える機会とし、共生社会に生きる児童の資質を育てる。
5 取組内容	<ul style="list-style-type: none"> 総合的な学習の時間や普段の学校生活の中でパラスポーツについて話題にしたり、調べたりする活動を設定する。 磐田市スポーツ振興課を通じて「ボッチャ」の道具を借りたり、体験活動を行ったりする。 ボッチャの体験を振り返る時間を取り、パラスポーツや障害のある人との関わりについて考える。 <div style="display: flex; align-items: flex-start;">  <div style="margin-left: 20px;"> <p>ボッチャのルールを聞く子どもたち。ゲームをすすめるごとに、審判も次第に上手になってきました。</p>  </div> </div>

<p>6 主な成果</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・児童がボッチャというスポーツを楽しむことが出来た。  <p>短時間の中で、児童はどんどん上手し、ボッチャが誰もが参加できるスポーツであることに気付いた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体験をとおして障がいのある人のスポーツという考え方から、お年寄りから小さな子供まで、様々な人が交流できるスポーツであるという感想を持った児童が多かった。 ・簡単なルールではあるが、勝つためには様々な作戦が必要であることに気づき、ボッチャというスポーツの魅力を体感できた。 ・今後も機会があれば「ボッチャ」をやってみたいという児童や他のパラスポーツも体験してみたいという感想が出された。
<p>7 実践において工夫した点 (事業の特色)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍の中で当初の計画通りに実施することはできなかったが、幸い今年度、スポーツ振興課から小学校の教職に復帰した職員がいたため、ルールの解説や用具の用意を行っていただけた。多くの人との接触をできるだけ避けてこの事業が行えたのはとてもありがたく思えた。
<p>8 主な課題等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「ボッチャ」というスポーツは、誰もが参加できるスポーツだと実感した。学校という現場でも1年生と6年生が対戦しても面白い結果になると思う。また、小中一貫教育や、多様性を認めていくという視点からも、いろいろな年齢の子どもたちが互いを認め合い、尊重し合えるスポーツであると感じるので、より多くの教育現場で普及していくことが大切ではないかと感じた。
<p>9 来年度以降の実施予定</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「ボッチャ」というスポーツを説明出来たり、体験したりした職員がいるので、用具の購入をぜひ考えていき、学級や学年間、また、保護者や地域の方とも交流が出来るように働きかけていきたい。 ・本校では4年生の総合的な学習の時間で「福祉」をテーマに総合的な学習の時間を進めているので、ボッチャ体験ができるように次年度への引継ぎをしていきたい。